

SUBARU BUSINESS REPORT



第57期 報告書

2014年3月1日～2015年2月28日

株式会社 昂

私たちの想い

私たち昂は、
二十一世紀社会に貢献できる
「人財」を育てたい。

● 昂の指導理念

師、心に灯をともし人

昂は、創業者である西村佳夫が鹿児島大学在学中に実家から送られてきた「りんご箱」で小さな学習塾を始めたことに端を発します。りんご箱から始まった学習塾は、1965年に「鶴丸予備校」として本格的な事業となり、当時全国でも10指に入る名門塾に発展し、1984年「受験ラサール」の開校を経て昂の礎が築かれました。鶴丸予備校から現在に至るまで長い日々培われた歴史も、「師、心に灯をともし人」このことばを指標として、生徒とともに精進してきました。昂は、受験勉強は真剣に取り組み、経験することに価値があり、この間に迷い、悩みを克服し、目標達成するところに逞しい人間が形成されると考えます。私たち昂の全社員は、子どもたちが、大きな目標に向かって成長していくことを心から願っています。



当たり前だけれど、
とても大切なことを
身につけさせます。

● 使命観

日日是鍛錬

1. 学問や芸術を学び極める
2. 身体を鍛える
3. 意志を鍛える

「日日是鍛錬」は、昂に関わる全ての人の強力なバックボーンであり、昂の全社員がお預かりしたお子さまを、我が子我が事と思い厳しく指導にあたる事で、多くの皆様の信頼を得ています。子どもたちを取り巻く教育環境が大きく変りつつある昨今においても、昂ではこの方向を見誤ることなく、子どもたちが必要とし、かつ学校では充分に出来ないことを追求していきたいと考えています。



社章



三人の力で構成されています。即ち、昂と生徒・保護者の三者の力を一つに合せて、学力・気力・体力を培い、日日是鍛錬して社章の真ん中にあるダイヤモンドのように磨きぬかれた最高のものをめざします。

営業のご報告

代表取締役社長 西村 道子

Michiko Nishimura



❖ ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第57期（平成26年3月1日から平成27年2月28日まで）報告書を作成いたしましたので、ご高覧くださいようお願い申し上げます。

❖ 営業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策、日銀による金融緩和策の継続効果により、大企業を

中心として企業業績、雇用環境は改善し、株価の上昇が顕著になりました。一方では、円安の進行は物価の上昇をまねき、実質所得を低下させたことも相俟って、消費税率引き上げ後の個人消費の回復は、地方都市においては、未だ遅れております。また輸出関連型企業と内需中心型企業の景況感格差は拡大しており、先行きには不透明な状況が続いております。

学習塾等の業界においては、少子社会の進行により、大規模な教室閉鎖を行う上場企業や、小さな学習塾が閉校するということが起きるようになりました。

このような状況下において当社は、教室授業時における基本動作の徹底と教務指導力を強化し、授業環境の最適化を図り、期待以上の成績向上を実現することで、生徒、保護者の満足度アップに注力いたしました。

また、教室展開としては、教室のロケーション及び投資効率の改善を図るため、玉江校（鹿児島県鹿児島市）と西新校（福岡県福岡市早良区）の2校を移転し、今後も安定的な需要が見込まれるフレスポ国分校（鹿児島県霧島市）を開校いたしました。

生徒構成においては、通常料金に比べ廉価な小学生を対象とする「キッズくらぶ」と高等部並びに個別指導部の

生徒数が前年実績を上回りましたが、中核をなす中学部の生徒数は前年実績を回復するまでには至りませんでした。

売上高においては、「反転授業」および「昂模試」解説等の動画サイトや、入退室管理システム等の新たなサービスを開始したことにより増加しました。

経費面においては、教室人員配置の適正化並びに地代家賃をはじめとした全社的な運営の効率化を推し進めた結果、売上原価は60百万円（△2.2%）削減されました。

以上の結果、当事業年度の売上高は35億84百万円（前期比0.1%増）、営業利益は2億74百万円（前期比30%増）、経常利益2億98百万円（前期比32.3%増）、当期純利益は、1億67百万円（前期比1,779.4%増）となりました。

❖ 今後対処すべき課題

当社は、今年、創業して50周年を迎えます。当社としては、次の50年後、つまり100年後にも必要とされる会社であることを念じ、人財づくりに専念することで、更なる発展をしていく覚悟です。

学習塾業界 特に九州における問題点は、少子高齢化に尽きると考えます。

その1番目は、対象生徒数の減少。2番目は、それを原

因とする学力の低下。3番目は、新規採用人員の質、量の低下です。

鹿児島県を例にとると、県内の公立高校の約7割が定員割れを起こしています。これが、生徒の勉強意欲を削ぐ結果となっています。このように昂が展開している九州4県の全てが、国が行う小6と中3の全国学力テストの結果で、平均正答率を下回っている状況です。

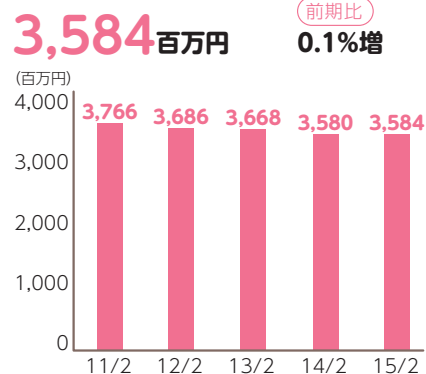
これらは、単に当社の経営に影響を与えるだけでなく、資源のない日本においてアジアはもとより、世界においても人的資源の枯渇を招く重大事だと考えております。このため、広く目を世界に向けた子どもたちを育てることが急務であり、小学生からの育成に力を入れる必要があると考え、私ども昂が「昂ベーション」に掲げているように、【学力と人間力】の両方を追求し、世界に通用する一流の人間を育てることで、社会に貢献したいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

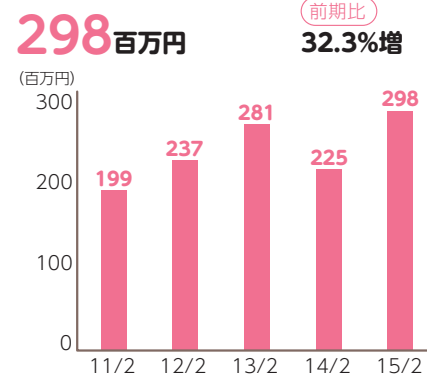
次期の業績予想といたしましては、売上高36億39百万円（当期比1.5%増）、営業利益2億78百万円（当期比1.3%増）、経常利益3億4百万円（当期比2.1%増）、当期純利益1億58百万円（当期比5.6%減）を見込んでおります。

主要な経営指標

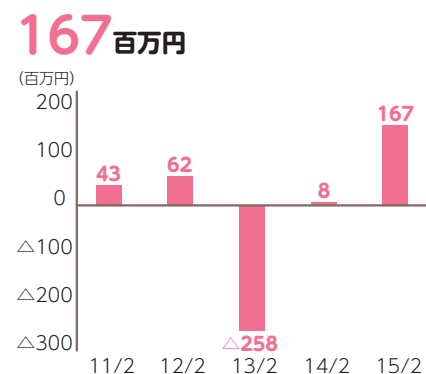
❖ 売上高



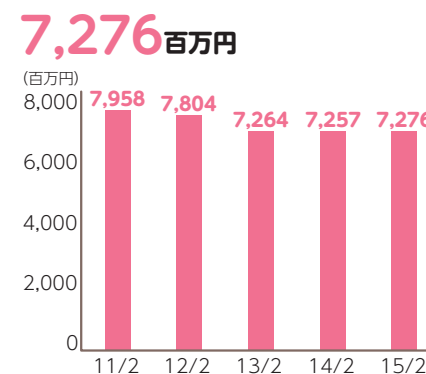
❖ 経常利益



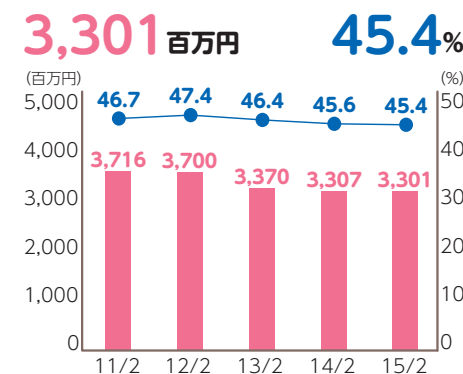
❖ 当期純損益



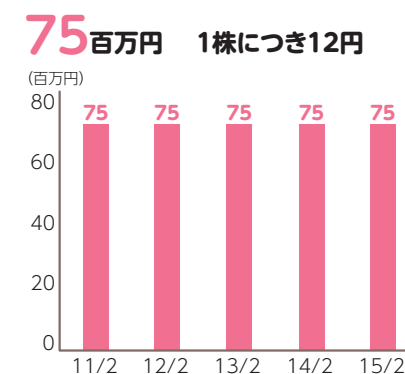
❖ 総資産



❖ 純資産・自己資本比率



❖ 配当金総額



公立高校の部

鹿児島	鶴丸	定員 320名	172名	※ 54%	UP!!
	甲南	定員 320名	142名	※ 44%	
宮崎	宮崎西	理数科	19名	※ 48%	
	宮崎大宮	文情科	37名	※ 46%	UP!!
熊本	熊本		20名		UP!!
	済々黌		12名		UP!!
福岡	修猷館		9名		UP!!
	城南		14名		

私立中・高校の部

灘	高	7名	※ 合格者 最高得点は 満点!
ラ・サール		44名	UP!!
久留米大附設		12名	UP!!
早稲田佐賀		42名	
青雲		72名	UP!!
弘学館		50名	舎格!
東大寺学園高		4名	UP!!
慶應義塾高		1名	
慶應義塾志木高		1名	

国公立小・中学の部

鹿大附属小・中	206名
宮大附属小・中	128名
熊大附属小・中	37名
福教大附属小・中	6名

公立中高一貫校

鹿児島玉龍中	76名
宮崎西高附属中	47名
都城泉ヶ丘高附属中	39名

大学の部

国公立大学

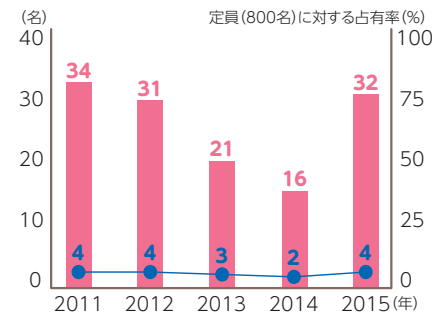
大阪大	広島大	横浜市立大
東京工大	熊本大	大阪市立大
お茶の水女子大	鹿児島大	下岡市立大
筑波大	長崎大	熊本県立大
東京農工大	大分大	福岡教育大
九州大	宮崎大	
千葉大	防衛医科大学	
静岡大	首都大東京	他多数

私立大学

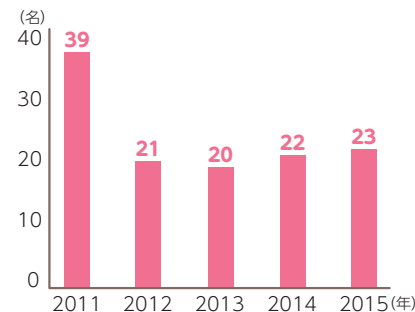
慶應義塾大	中央大	京都外大
上智大	法政大	西南学院大
東京理科大	同志社大	福岡大
立教大	立命館大	日本大
青山学院大	関西学院大	他多数

有名校の合格者推移

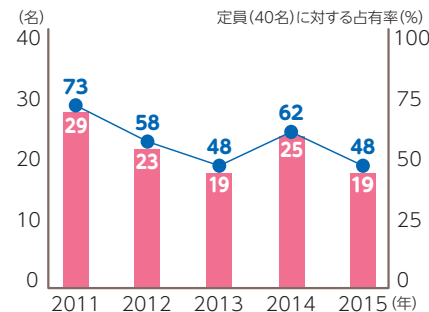
❖ 熊本県立 熊本・済々黌高校の合計



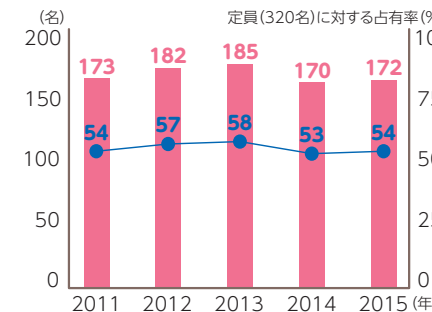
❖ 福岡県立 修猷館・城南高校の合計



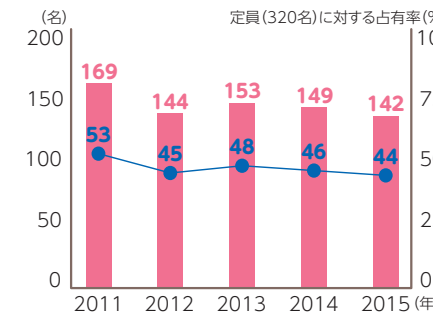
❖ 宮崎県立 宮崎西高校(理数)



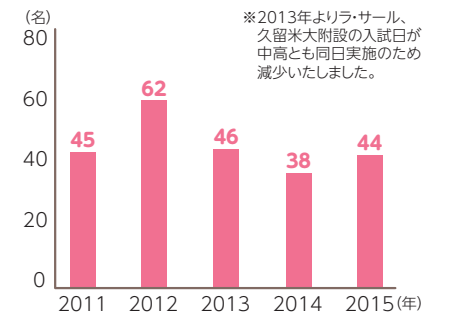
❖ 鹿児島県立 鶴丸高校



❖ 鹿児島県立 甲南高校



❖ 私立 ラ・サール



※2013年よりラ・サール、久留米大附設の入試日が中・高とも同日実施のため減少いたしました。

*合格者数は卒業時まで在籍した生徒に限定して集計してあります。

皆様からの「声」

昴では、皆様から
様々なご意見をいただき、
子どもたちの指導に
役立てています。



加世田校

4月の転校と同時の昴入学でした。前の知覧中の生徒にも再会でき、スムーズに新しい環境になじみまして、親としても一安心でした。二言目には「わかりやすい」「教え方が上手」「わからないことをよく教えてくれる」と、学校より信頼度が大きいようです。

9月の校内実力で本人も「私じゃない」というような成績アップで親としましても感謝の言葉も見つからないほど感動しました。

まだまだ志望校には程遠いですが、今の校内順位を死守すると張り切っております。なお、体育大会に駆けつけて写真まで取っていただきました。とても喜んでいました。細やかなご配慮ありがとうございました。

日向校

行く前は嫌がる場面もありましたが、昴でのお友達もでき、今は楽しく行っています。先生方にご迷惑をおかけすることもあります、自分の子のように接してくださる姿を拝見して有難く思っております。今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

大塚校

昴に入る前は友達に授業でわからないところを教えてもらっていたけど、昴に入ってから、わたしが友達に教えることができたのでうれしかった。

志布志校

やさしくて、おもしろくて、とっても分かりやすく、すぐ覚えられてとってもとっても楽しいです。

なので、すばるは絶対やめません。これからもがんばります。

受験ラサール 加治屋

先生方がとても感じがよく話しやすいですし、子供が塾に行きだして結果が目に見えて出てきて、本人もまたまたスイッチが入り、自ら毎日勉強に取り組むようになりました。中学に入って最初の全九州模試で数学の試験で100点を取ったとき、「先生がすぐに教えてくださった！」と本人も嬉しそうに帰宅後すぐに報告しました。一人一人をしっかりと見てくださっているのだなと、うれしく思いました。また、中学の体育祭にも来てくださっていてとてもうれしかったです。温かさを感じました。まるで自分の子供のように見守ってくださっている感じで安心してお願いできます。これからも宜しくお願いします。

鴨池校

いつも母子家庭の保護者である私が多忙のため、娘の勉強や生活習慣について細やかに世話をすることができずにいましたが、そろそろ中2の2学期に入ったこともあり、学校の試験結果を見てもみたら、苦手の漢字で大幅に点数を落としていることを知りました。私はかなりショックを受け、受験までの今後を憂えていました。

思い立って、昴の先生方に相談したところ、漢字の具体的・効果的な覚え方を丁寧に教えてくださり、大変有難い心持ちでした。おかげさまで本人も工夫し始めたようです。どうもありがとうございました。

名瀬校

いつも親身になってのご指導ありがとうございます。

勉強、勉強でストレスを抱えがちですが先生方がよく話しかけてくれ、子供もニコニコしている様子がうかがえ、私も“ホッ”としているところです。

先日、三者面談を終えて、担当の先生には適切なアドバイスももらえてとてもよかったと思います。入試まであと3か月くらいですが、親子ともども頑張りますので宜しくお願いします。



昂の歴史

おかげさまで、50周年を迎えることができました。



当社は、1965年に鶴丸予備校として学習塾の経営をはじめてから、今年で50年になります。
そこで今回は、当社の歴史をご紹介します。

1965

9月

鶴丸予備校設立

1991

2月

有限会社鶴丸予備校より
株式会社昂へ組織変更
資本金1億3,125万円

9月

資本金7億4,875万円

1997

2月

熊本県へ展開



2002

3月

福岡県へ展開

4月

すばる個別指導 開校



2012

12月

すばるキッズくらぶ
FC事業募集開始



2008

3月

菊陽校・浮城校
開校

2009

3月

大津校 開校

2011

3月

すばる個別指導
武蔵ヶ校教室 開校

2014

3月

フレスポ国分校
開校

1965

1970

1980

1990

2000

2005

2010

2015

1972

7月

法人化



1978年当時の本社ビル
(現 鴨池校)

1992

6月

宮崎県へ展開

1994

8月

資本金
8億3,875万円

1995

12月

店頭公開(ジャスダック上場)
資本金9億9,075万円



ジャスダック上場時の新聞記事

2001

3月

高等部開校

2005

3月

ブルースカイ
開校

2007

11月

全九州模試・全九州
学力テスト(株)
全教研と共催



2010

3月

皇徳寺校 開校

7月

すばる個別指導
水前寺教室 開校

2013

7月

けやき通り教室・
鳥飼教室 開校

2015

4月

東進衛星予備校を
鹿児島、宮崎で開校





教室案内 (2015年5月現在)

SUBARU 新上橋校	
新上橋校	☎(代)099-252-3656
玉里校	☎(代)099-229-0778
伊敷校	☎(代)099-228-9361
玉江校	☎(代)099-295-3202
上町校	☎(代)099-247-4321
吉野校	☎(代)099-244-2756
甲南校	☎(代)099-256-1771
武岡校	☎(代)099-281-0722
鴨池校	☎(代)099-255-1251
紫原校	☎(代)099-256-1851
桜ヶ丘校	☎(代)099-275-1822
和田校	☎(代)099-267-2281
中山校	☎(代)099-260-7077
皇徳寺校	☎(代)099-275-2366
伊集院校	☎(代)099-273-0609
串木野校	☎(代)0996-32-7344
加世田校	☎(代)0993-53-5334
枕崎校	☎(代)0993-73-2555
指宿校	☎(代)0993-22-6100
川内校	☎(代)0996-25-3816
川内北校	☎(代)0996-20-3380
出水校	☎(代)0996-63-8751
国分校	☎(代)0995-47-0740
フレスポ国分校	☎(代)0995-73-4630
始良校	☎(代)0995-65-6014
加治木校	☎(代)0995-62-3313
隼人校	☎(代)0995-43-5201
西原校	☎(代)0994-43-9998
寿校	☎(代)0994-43-6500

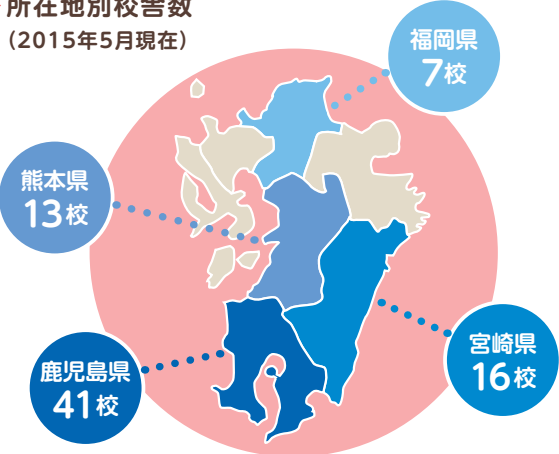
SUBARU 志布志校	
志布志校	☎(代)099-473-3813
名瀬校	☎(代)0997-54-0360
大塚校	☎(代)0985-50-5350
大淀校	☎(代)0985-50-7335
大宮校	☎(代)0985-38-8258
加納校	☎(代)0985-85-4415
浮城校	☎(代)0985-61-8211
延岡校	☎(代)0982-22-0805
日向校	☎(代)0982-54-1219
都城校	☎(代)0986-26-4450
西都城校	☎(代)0986-24-5755
末吉校	☎(代)0986-28-8333
小林校	☎(代)0984-23-1124
武蔵ヶ丘校	☎(代)096-339-5413
健軍校	☎(代)096-369-3440
八代校	☎(代)0965-33-4400
宇土校	☎(代)0964-22-8222
玉名校	☎(代)0968-72-0711
菊陽校	☎(代)096-233-3337
大津校	☎(代)096-293-7688
西新校	☎(代)092-833-8331
室見校	☎(代)092-844-8585
姪浜校	☎(代)092-883-8000
SUBARU 個別指導	
加治屋教室	☎(代)099-805-3151
鴨池教室	☎(代)099-285-3511
中央教室	☎(代)099-812-6336
谷山教室	☎(代)099-260-9588
玉江教室	☎(代)099-295-3220

SUBARU 橘教室	
橘教室	☎(代)0985-60-5213
大塚教室	☎(代)0985-63-1588
明午橋教室	☎(代)096-319-7551
水前寺公園教室	☎(代)096-373-1187
水前寺教室	☎(代)096-386-5558
武蔵ヶ丘教室	☎(代)096-348-7533
けやき通り教室	☎(代)096-370-8688
西新教室	☎(代)092-852-1651
平尾教室	☎(代)092-525-6855
姪浜教室	☎(代)092-883-8666
鳥飼教室	☎(代)092-832-5155

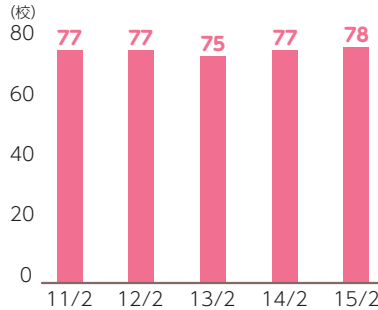
SUBARU 受験ラサール	
加治屋(中学部)	☎(代)099-222-6637
加治屋(小学部)	☎(代)099-222-5345
谷山	☎(代)099-268-1381
宮崎(中学部)	☎(代)0985-31-0033
宮崎(小学部)	☎(代)0985-29-0131
水前寺	☎(代)096-385-8801
SUBARU 高等部	
鹿児島	☎(代)099-256-7155
宮崎	☎(代)0985-60-1351
都城	☎(代)0986-46-5228

東進衛星予備校	
鹿児島中央町	☎(代)099-230-7154
宮崎橘	☎(代)0985-65-8577

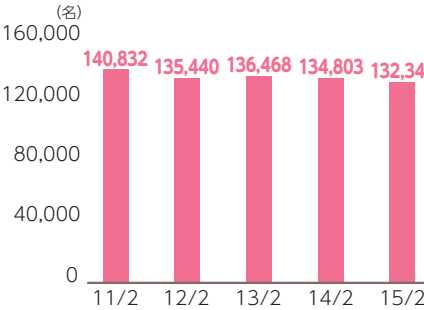
❖ 所在地別校舎数 (2015年5月現在)



❖ 校舎数推移



❖ 生徒総数推移



株主優待制度

昂では、株主の皆様への利益還元策の一環として、株主優待制度を設けています。

中間期末

毎年8月末日現在の株主の皆様に対して、利益還元策の一環として「青森産りんご」を毎年12月(旬の時期)にお贈りしております。
風邪を予防する働きがあると言われるビタミンCやAなどが豊富に含まれる、天然の健康食品・りんごの味覚をお楽しみください。



(優待制度の内容)
所有株式数1,000株(1単元)以上は3kg、5,000株(5単元)以上は5kgの青森産りんごを贈呈。

期末

毎年2月末日現在の株主の皆様に対して、利益還元策の一環として「株主ご優待券」を贈呈させていただきます。是非ともお役立てくださるようお願い申し上げます。

(優待制度の内容)

- 所有株式数1,000株(1単元)以上は、5,000円の優待券を、5,000株(5単元)以上は、10,000円の優待券を贈呈。
- 優待券は、昂の全教室(マナビスを除く)で入学金、受講料などのお支払いにご利用いただけます。
- 平成27年6月1日から平成28年5月31日まで1年間有効。
- 本券と現金の引換えはいたしません。
- 盗難、紛失等による再発行はいたしません。





財務諸表

BS 貸借対照表

		(単位:百万円)	
		当期	前期
		平成27年2月28日	平成26年2月28日
資産の部	科目		
	流動資産	438	383
	固定資産	6,838	6,874
負債の部	資産合計	7,276	7,257
	流動負債	2,031	1,638
	固定負債	1,942	2,311
純資産の部	負債合計	3,974	3,949
	株主資本	3,254	3,298
	資本金	990	990
	資本剰余金	971	971
	利益剰余金	1,805	1,712
	自己株式	△512	△376
	評価・換算差額等	46	9
	純資産合計	3,301	3,307
	負債及び純資産合計	7,276	7,257

CF キャッシュ・フロー計算書

		(単位:百万円)	
		当期	前期
		平成26年3月 1日から 平成27年2月28日まで	平成25年3月 1日から 平成26年2月28日まで
科目			
営業活動によるキャッシュ・フロー		455	216
投資活動によるキャッシュ・フロー		△121	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー		△278	△3
現金及び現金同等物に係る換算差額		1	0
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)		58	16
現金及び現金同等物の期首残高		184	168
現金及び現金同等物の期末残高		242	184

PL 損益計算書

		(単位:百万円)	
		当期	前期
		平成26年3月 1日から 平成27年2月28日まで	平成25年3月 1日から 平成26年2月28日まで
科目			
売上高		3,584	3,580
売上原価		2,733	2,794
販売費及び一般管理費		576	574
営業利益		274	211
営業外収益		39	33
営業外費用		16	18
経常利益		298	225
特別利益		—	0
特別損失		4	132
税引前当期純利益		293	93
法人税、住民税及び事業税		131	97
法人税等調整額		△5	△12
当期純利益		167	8



企業情報

会社概要 (2015年2月28日現在)

社名	株式会社 昴
本社所在地	〒892-0846 鹿児島県鹿児島市加治屋町9番1号
電話番号	099-227-9500
設立	昭和47年7月
資本金	9億9,075万円
従業員数	313名
事業内容	当社は、幼児、小学1年生から中学3年生までの児童・生徒および高校生を対象とする学習塾であります。

役員状況 (2015年5月27日現在)

代表取締役社長	西村 道子	常勤監査役	佐多 道大
代表取締役副社長	西村 秋	監査役	宮川 秀樹
取締役	毛利 寿男	監査役	永井 暁
取締役(社外)	末永 隆		

株式の状況 (2015年2月28日現在)

発行可能株式総数 15,000,000株

発行済株式の総数 6,935,761株

株主数 832名

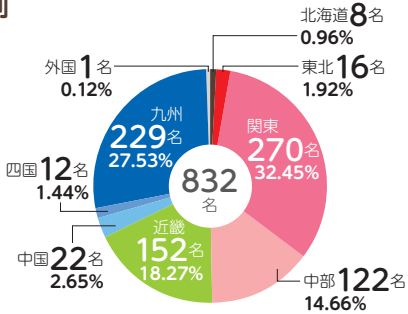
❖大株主(上位11名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社学友社	2,567	40.90
西村 秋	460	7.33
西村道子	389	6.21
資産管理サービス信託銀行株式会社	360	5.73
株式会社鹿児島銀行	310	4.94
株式会社南日本銀行	214	3.40
昴取引先持株会	144	2.30
昴社員持株会	110	1.75
佐藤兼義	104	1.65
株式会社宮崎銀行	90	1.43
三菱UFJ信託銀行株式会社	90	1.43

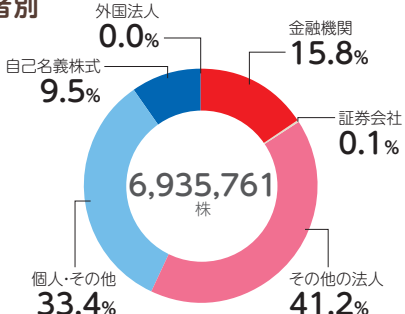
(注)持株比率は、自己株式(658,267株)を控除して計算しております。

株式分布状況 (2015年2月28日現在)

❖地域別



❖所有者別



昴のリアルタイム情報を当社のホームページでご覧いただけます。→ <http://www.subaru-net.com>

株主メモ

事業年度 3月1日～翌年2月末日

期末配当金受領株主確定日 2月末日

中間配当金受領株主確定日 8月31日

定時株主総会 毎年5月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上 場 証 券 取 引 所 株式会社 東京証券取引所 JASDAQ市場

公 告 の 方 法
公告掲載URL <http://www.subaru-net.com>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じた時には、
日本経済新聞に公告いたします。)

単 元 株 式 数 1,000株

！ ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9778

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com